

## 【羅臼町】 校務 DX 計画

文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育 DX を推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、当町において次に掲げる事項を推進する。

### 1 校務系・学習系ネットワークの統合

当町では、校内のネットワークを児童生徒の個人情報等を取り扱う「校務系」、児童生徒が教育活動で利用する「学習系」の 2 つに分離し、インターネット・ネットワーク経由等から児童生徒の個人情報等にアクセスできない構成としている。

教職員の働きやすさの向上と教育活動の高度化を目指し、ゼロトラストセキュリティの考え方にに基づき、アクセス制御によるセキュリティ対策を十分講じた上で、学校・町情報管理担当・関係業者と連携を図りながら、ロケーションフリーで校務系・学習系ネットワークへ接続可能な環境の整備に向けた調査研究を進める。

### 2 校務支援システムのクラウド化

現在、校務環境はオンプレミス型(各校のサーバ上)で運用しており、校務環境内で利用する校務支援システムについては、回線接続型で運用している。教務、保健、学籍、成績管理など幅広い業務で利活用されている。

保護者連絡アプリなど汎用クラウドツールと連携し、教職員の負担軽減やコミュニケーションの迅速化、活性化できる環境を構築するため、校務支援システムのクラウド化について、先行する自治体の動向を調査、並びに各学校と情報共有を図りながら、校務支援システムのクラウド化を推進する。

### 3 次世代の校務デジタル化に向けた各種ツールの活用

上記2と合わせて、校務の効率化や授業の質の改善を図るため、授業支援ソフトや学習ツールで蓄積された学習系データ、MEXCBT などの教育行政データ、児童生徒の出欠及び成績情報等の校務系データなど、様々な教育データを収集・分析・可視化する管理ツール(教育ダッシュボード)の機能の有用性及び費用対効果を調査し、今後の導入に向けて検討を行う。

### 4 ペーパーレスの推進

当町では、校内の職員会議等において、校務サーバ等に保存した電子データを校

務支援システムのグループウェア機能を活用し、学校内での情報共有や連絡等についてペーパーレス化を図っている。

また、保護者連絡アプリによる教員と保護者間の連絡のデジタル化、児童生徒への各種連絡のデジタル化、教員間の情報共有のデジタル化（クラウドツールの活用）や研修資料のアーカイブ化により、ペーパーレス化の促進や業務削減を図る。

## 5 FAX・押印の原則廃止

当教育委員会と学校間においては、FAXの過度な利用、不必要な押印は行わないよう努めているところである。

令和5年12月に文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告によると、一部でまだ保護者・外部とのやり取りで押印・署名が必要な書類があり、クラウド環境を活用した校務DXを大きく阻害していることが指摘されていることから、令和6年8月9日付け文部科学省事務連絡「学校とのFAXでのやり取りの慣行・学校現場に関連する押印ルールの見直しについて」に基づき校務DXを推進する。

災害や教育ネットワークの不具合時などFAXの方が電子メール等より効率的な場合を除き、FAX及び押印の原則廃止に向けて、関係機関及び学校と関わりのある事業者に対し、教育委員会から慣行の見直しを依頼する等、継続的に働きかけを行う。